

## 事例15

## どんぐりから森を知ろう

|      |  |
|------|--|
| 内容   | 森で採集できるどんぐりや木の実から森の生態系について学ぶとともに、クラフトの作成を行う。   |
| ねらい  | 子供たちの興味を引きやすいどんぐりや木の実を入口に、植物の種類や森の生態系について興味をもってもらう。また、それらの材料を使いオブジェや図鑑など、手元に形として残るものを作ることにより、より印象に残りやすい企画とする。  |
| 学習効果 | 植物や生態系についての知識を深める。<br>クラフトによる創造性の向上。   |
| 関連教科 | 理科、図工  |
| 対象学年 | 小学校3～6年生   |
| 対象人数 | 40名程度まで(5、6人のグループ分けで実施)  |
| 場所   | 三重県民の森内（教室にて実施することも可）  |
| 時期   | 10～12月(教室内での実施は通年)   |
| 進め方  | <p>県民の森で親子対象で実施した例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①園内を歩いてどんぐりを採取する。特徴についての説明を随時行う。</li> <li>②どんぐりの森での役割を説明する。</li> <li>③持ち帰ったどんぐりを使ってクラフト(どんぐり図鑑など)を行う。</li> </ol> <p>クラス単位で実施する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①園内を歩いてグループごとにどんぐりを数種類、採集する。葉も観察しておく。(教室内での実施時は用意したどんぐりを使用)</li> <li>②持ち帰ったどんぐりについて、見分け方や違いについて考える。</li> <li>③グループごとに違いや木の特徴を発表する。</li> <li>④どんぐり種類ごとの特徴を説明する。</li> <li>⑤どんぐりの森での役割を説明する。</li> <li>⑥どんぐりを使って、クラフト(どんぐり図鑑など)を行う。</li> </ol> |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p><b>ポイント</b></p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりの種類の見分け方、違いについて考える。</li> <li>・楽しんで理解するために、どんぐり見分けクイズなどを用意する。</li> <li>・植物の種子としてや動物の食料としてなど、どんぐりの森での役割を理解する。</li> <li>・芽を出したどんぐりや、動物の食痕などを実際に見つける。</li> <li>・シイの実など、食べられるどんぐりを実際に炒って食べてみる。</li> </ul> |
| <p><b>道具・材料</b></p>             | <p>筆記用具、プロジェクター、採集用の袋、グルーガン、その他クラフト材料・道具</p>   |
| <p><b>所要時間</b></p>              | <p>60分～90分</p>   |
| <p><b>経費</b></p>                | <p>(出張して行う場合)講師料 5,000円/1回×1人<br/> (出張して行う場合)交通費 35円/km<br/> 材料代 1人100円～300円(クラフト内容による)</p>  |
| <p><b>森のせんせい<br/>氏名・団体名</b></p> | <p>三重県民の森</p>  |
| <p><b>住所</b></p>                | <p>三重郡菟野町千草7181-3</p>  |
| <p><b>連絡先</b></p>               | <p>TEL 059-394-2350</p>  |



※写真は親子連れを対象に実施したもの